

# 2020年12月期（第121期）

## 第2四半期決算 <補足説明資料(Q&A)>



新日本電工株式会社

2020年 8月 28日




問合せ先 総務部長 上 直  
電 話 03-6860-6800

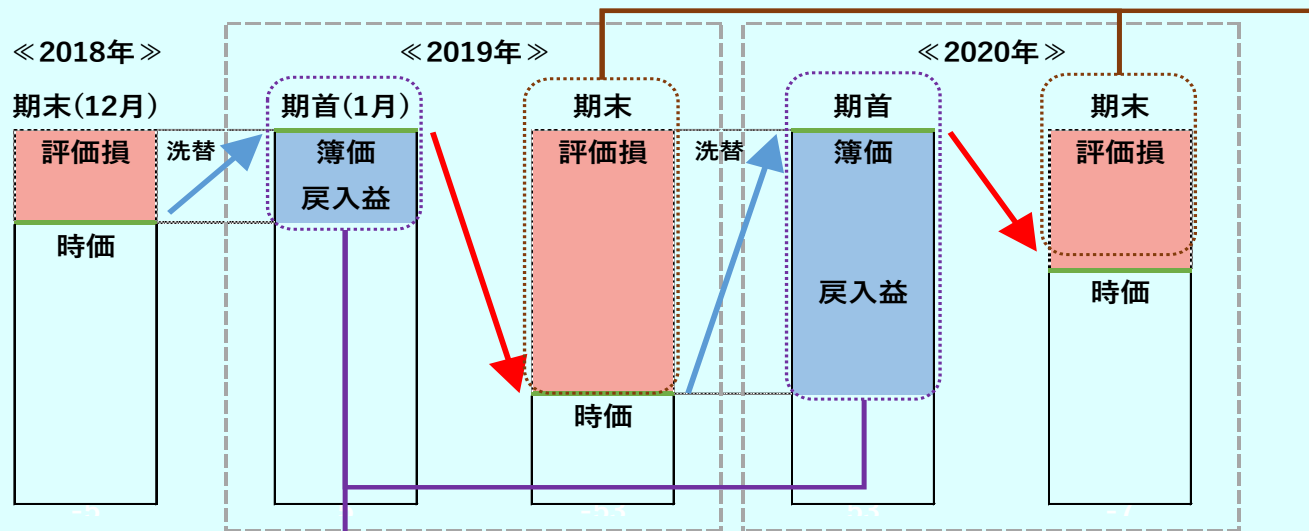
<http://www.nippondenko.co.jp>

# 連結営業損益分析

Q: 棚卸評価損益差(決算説明資料:P6・11・14)について詳しく教えてほしい。

A: 棚卸評価損差が発生する理由について、以下のイメージ図をご覧ください  
(決算説明資料:P14)。

	貸借対照表残高
	前期末に計上した評価損額を翌期首に戻入れ(洗替)、評価損計上前の残高とする。
	期末に再度評価を実施し、簿価が時価を上回るようであれば、時価まで残高を減少させる(評価損を計上)。



前期実績 対 通期見通し	
洗替額の差(戻入益差)	48億円
その他の評価損益差(計上額差 他)	37億円
合計	85億円

# 2020年業績見通し

Q: 高炭素フェロマンガンとマンガン鉱石の前提価格は？

A: 高炭素フェロマンガンは1,000ドル前後、マンガン鉱石は5ドル程度と想定して業績見通しを作成しています。

Q: 鹿島工場の合金鉄製造電気炉を現在、休止しているが再稼働の時期はいつ頃になるのか？

A: 主要需要家である日本製鉄が一部の高炉でバンキングによる減産対応を行っており、それに対応して鹿島工場の合金鉄製造電気炉は一時的に停炉していますが、再稼働時期は未定です。  
再稼働の時期につきましては、需要回復の状況をみながら判断していきます。

# 2020年業績見通し

Q: 機能材料事業の販売状況は？

A: 製品毎の状況

電池材料: 新型コロナの影響を受け、自動車関連向けの販売は減少

ジルコニア: 5G関連の販売により販売は堅調

フェロボロン: アモルファス向けが大幅な減産となっており、販売は低調

# 利益還元

Q: 期末配当予想は3円としているが、なぜ中間配当を行わないのか？

A: 上期は棚卸資産評価による帳簿価額の切り下げの戻り益により黒字回復となったが、下期は特に合金鉄の製品市況は引き続き弱含みであり、加えて棚卸資産評価損差により最終損益が赤字となるため、中間配当は見送ることとさせていただきます。